



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年8月9日

上場会社名 ニッポンインシュア株式会社 上場取引所 東
コード番号 5843 URL <https://www.nipponinsure.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 真也
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理事業部長 (氏名) 竹村 洋一 (TEL) 092(726)1080
四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の業績 (2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	2,378	11.9	370	18.2	361	14.3	241	22.0
2023年9月期第3四半期	2,125	—	313	—	315	—	197	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	86.86	86.08
2023年9月期第3四半期	98.82	—

(注) 2022年9月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	4,435	1,938	43.7
2023年9月期	3,407	1,102	32.4

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 1,938百万円 2023年9月期 1,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,188	10.8	351	20.4	342	17.1	231	17.8	83.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	2,794,300株	2023年9月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	－株	2023年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	2,776,128株	2023年9月期3Q	2,000,000株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本報告書に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、2024年8月9日（金曜日）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、社会活動の正常化に伴い、インバウンド需要が増加するなど景気回復の動きを見せる一方で、長期化するウクライナや中東情勢、資源価格高騰に伴う物価上昇、国内金利の上昇や円安の進行など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の関連業界である賃貸不動産業界においては、デジタル技術の進化により、契約手続きのデジタル化が進んでおります。具体的には、契約書類のオンライン化や電子署名の導入が行われており、紙の契約書の作成や保管、郵送といった手間を省くことが可能となってきました。また、電子契約システムの導入により、契約のスピードアップやリモートでの取引が可能となるなど、業界全体のデジタルトランスフォーメーション（DX）が進展しております。

このような事業環境のもと、当社は多様化する顧客ニーズに対応するべく、これまで培ってきたノウハウを活用し、保証システム及び取扱店様向け顧客情報管理システムの改修を図り、サービスの業容拡大を目指してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,378,316千円（前年同期比11.9%増）、営業利益370,949千円（前年同期比18.2%増）、経常利益361,008千円（前年同期比14.3%増）、四半期純利益241,157千円（前年同期比22.0%増）となりました。

なお、セグメント別の経営成績につきましては次のとおりであります。

(保証事業)

保証事業におきましては、積極的な新規取引先の開拓を継続することにより、新規優良顧客の獲得に努め、シェア拡大を目指してまいりました。また、既存クライアントへは利便性の向上と随時情報収集を行い、新たな商品設計の提案を行うなど、各施策を実施し顧客ニーズへの対応強化を図ったため、契約件数が順調に推移しました。なお、SMSを使ったWEB請求・オートコール・AIオペレータによるオートメーション化を図るなど、回収効率向上にも取り組んでまいりました。

この結果、本報告セグメントの売上高は2,223,186千円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益は542,930千円（前年同期比16.4%増）となりました。

(その他)

その他の区分におきましては、ランドリーサービスについては、店舗の美化向上に向けた業者による清掃を行い、「安心、安全、清潔」な店舗を維持するように努めました。

フィットネスサービスについては、お客様一人ひとりに合わせたサポート体制を目指し、ストレッチ教室の開催やカウンセリングを通じてフォロー体制を強化してまいりました。さらに、近隣の商業施設などを活用した集客活動を通じて、新規会員の獲得を積極的に行ってまいりました。

この結果、その他の区分の売上高は155,129千円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益は23,944千円（前年同期比18.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

総資産の残高は、前事業年度末に比べ1,027,821千円増加し、4,435,462千円となりました。

流動資産の残高は、前事業年度末に比べ970,398千円増加し、3,913,811千円となりました。これは主に、現金及び預金が670,211千円増加、未収入金が137,198千円増加、求償債権が260,157千円増加、貸倒引当金が88,468千円増加したことなどによるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べ57,422千円増加し、521,650千円となりました。これは主に、無形固定資産が8,627千円増加、投資その他の資産が52,676千円増加した一方で、有形固定資産が3,881千円減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ191,534千円増加し、2,496,675千円となりました。これは主に、流動負債の未払法人税等が58,343千円増加、前受収益が121,712千円増加、保証履行引当金が49,680千円増加した一方で、未払金が42,911千円減少、賞与引当金が46,912千円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ836,286千円増加し、1,938,786千円となりました。これは、資本金が297,564千円増加、資本剰余金が297,564千円増加、利益剰余金が241,157千円増加したことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の通期業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,729,700	2,399,911
売掛金	18,660	22,105
未収入金	563,073	700,272
求償債権	952,992	1,213,149
その他	39,558	27,412
貸倒引当金	△360,572	△449,040
流動資産合計	2,943,412	3,913,811
固定資産		
有形固定資産	34,807	30,925
無形固定資産	61,882	70,509
投資その他の資産	367,538	420,215
固定資産合計	464,228	521,650
資産合計	3,407,640	4,435,462

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	479,500	501,500
1年内返済予定の長期借入金	864	864
未払金	84,535	41,624
未払法人税等	50,202	108,546
預り金	127,146	141,438
前受収益	1,088,405	1,210,117
賞与引当金	65,991	19,078
役員賞与引当金	2,400	-
保証履行引当金	305,091	354,771
その他	11,556	15,075
流動負債合計	2,215,693	2,393,016
固定負債		
長期借入金	7,240	6,592
退職給付引当金	27,165	32,858
役員退職慰労引当金	44,807	55,444
その他	10,234	8,764
固定負債合計	89,447	103,659
負債合計	2,305,141	2,496,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	347,564
資本剰余金	70,228	367,793
利益剰余金	982,270	1,223,428
株主資本合計	1,102,499	1,938,786
純資産合計	1,102,499	1,938,786
負債純資産合計	3,407,640	4,435,462

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,125,789	2,378,316
売上原価	874,086	941,357
売上総利益	1,251,702	1,436,958
販売費及び一般管理費	937,873	1,066,009
営業利益	313,829	370,949
営業外収益		
受取賃貸料	1,101	1,185
償却債権取立益	261	1,316
その他	1,942	318
営業外収益合計	3,305	2,820
営業外費用		
支払利息	829	1,012
支払手数料	251	277
上場関連費用	-	11,459
その他	312	11
営業外費用合計	1,393	12,761
経常利益	315,741	361,008
税引前四半期純利益	315,741	361,008
法人税、住民税及び事業税	155,841	172,180
法人税等調整額	△37,760	△52,329
法人税等合計	118,081	119,850
四半期純利益	197,659	241,157

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年10月2日付で、一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株発行を行い払込を受け、資本金が243,506千円、資本剰余金が243,506千円増加しております。また、2023年10月31日付で、野村證券株式会社から第三者割当増資の払込を受け、資本金が54,058千円、資本剰余金が54,058千円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金が347,564千円、資本剰余金が367,793千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計
	保証事業		
売上高			
顧客との契約から生じる収益	169,384	151,871	321,255
その他の収益	1,804,533	—	1,804,533
外部顧客への売上高	1,973,917	151,871	2,125,789
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,973,917	151,871	2,125,789
セグメント利益	466,463	29,199	495,663

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ランドリーサービス及びフィットネスサービスを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	466,463
「その他」の区分の利益	29,199
全社費用(注)	△181,834
四半期損益計算書の営業利益	313,829

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	保証事業		
売上高			
顧客との契約から生じる収益	213,070	155,129	368,200
その他の収益	2,010,115	—	2,010,115
顧客への売上高	2,223,186	155,129	2,378,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,223,186	155,129	2,378,316
セグメント利益	542,930	23,944	566,874

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ランドリーサービス及びフィットネスサービスを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	542,930
「その他」の区分の利益	23,944
全社費用(注)	△195,925
四半期損益計算書の営業利益	370,949

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	29,394千円	28,434千円